

令和 7 年度 (2025 年度)

大分大学医学部看護学科第 3 年次編入学試験問題

総 合 問 題

(注 意)

1. 問題冊子及び解答冊子は試験開始の合図があるまで表紙を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙のほかに問題 4 枚, 解答冊子は表紙のほかに 5 枚, 下書き用紙は 1 枚あります。
3. HB または F の鉛筆もしくはシャープペンシルで書き, 万年筆, ボールペン, 色鉛筆などは使用してはいけません。
4. 監督者の指示に従い, 開始後, 解答冊子の表紙所定欄に受験番号・氏名をはっきり記入しなさい。
5. 解答は, 解答冊子内の指定された枠内に**横書き**で記入しなさい。
6. 解答欄の解答に字数制限はありませんが, 枠内に記述しなさい。
7. 答案のはじめに問題の文章を転記する必要はありません。
8. 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ってかまいません。

問題1：() 内に適切な語句を記載し、文章を完成させなさい。

人体において細胞は、生命活動を行う最小の単位であるといえる。細胞の働きは、大きく2つ挙げられる。1つは、(①) の産生であり、1つは、(②) の合成である。①の産生には、体外から物質を取り込むことが必要となる。細胞内に取り込まれたグルコースは、細胞質内でピルビン酸に変換され、この過程で①が産生される。この経路を(③) と呼ぶ。ピルビン酸が、細胞質から(④) に入り、(⑤) 、(⑥) という反応系を経る過程においても(①) は産生される。

②の合成には、(⑦) に存在する(⑧) と RNA が深く関与する。

問題2：() 内に適切な語句を記載し、文章を完成させなさい。

(①) と固有心筋の活動電位の発生の仕方は異なる。①には静止電位はなく、絶えず脱分極しており、歩調取り電位として観察できる。また、固有心筋では、(②) イオンの細胞内流入によって起こる活動電位と、その後の(③) イオンの細胞内流入によって起こるプラトーが形成される。このプラトーの期間はほぼいかなる刺激がきても反応しない(④) にあたり、心筋の④は骨格筋と比較するとはるかに長い。

このプラトーの形成および①の(⑤) での伝導の遅延によって、心臓は十分に収縮して血液を拍出することができる。また、プラトーが形成されることで、洞結節以外の興奮によって活動電位が生じることはないためにある程度一定の心拍数を刻むことができる。

心拍出量を規定する因子は大きく、心収縮力、前負荷、後負荷、心拍数の4つである。前負荷は心室が(⑥) する直前にかかっている負荷のことで心室内に充満している血液量に相当する。心室へ流入する血液量が多いほど前負荷は増大し、心収縮力が増加する。前負荷の増大に伴って心収縮力が増す性質を(⑦) の法則という。後負荷とは、心室が(⑧) した後にかかる負荷のことで、拡張期血圧に相当する。

問題3：以下の組み合わせで、正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい。

V. ヘンダーソン	—	14 項目基本的ニード
D.E.オレム	—	適応理論
J.トラベルビー	—	人間対人間の看護
S.C.ロイ	—	セルフケア理論
M. メイヤノフ	—	ケアリング

問題4：次の①～⑤に関連するものを下の語群から選び、記号で答えなさい。

- ①障害のある者が障害のない者と同等に生活し活動する社会を目指す理念
()
- ②良質の医療を受ける権利
()
- ③人を対象とする医学研究の倫理原則
()
- ④医療従事者による十分な説明と同意
()
- ⑤プライマリヘルスケア
()

～語群～

A：リスボン宣言	B：ヘルシンキ宣言	C：アルマ・アタ宣言
D：ノーマライゼーション	E：エンパワメント	F：ヘルスプロモーション
G：インフォームド・コンセント	H：アドボカシー	

問題5：ワクチン接種後の抗体産生について、①～④の文章で正しいものに○、誤っているものに×を記載しなさい。また、×と回答した場合、下線部に該当する正しい語句を記載しなさい。

- ①ワクチン内の抗原を提示するのはマクロファージなどの抗原提示細胞である
- ②抗体を産生するのはT細胞が活性化した形質細胞である
- ③抗原に対して最初に産生される抗体はIgAである
- ④抗原に対して血中濃度が最も高くなる抗体はIgGである

問題6：85歳の男性。数日前から軽い頭痛があり来院した。筋力が低下し、1年前くらいから自宅内のわずかな段差でつまずくようになった。2か月前に夕食時に飲酒し、ふらついて転倒して前頭部をテーブルの角にぶつけたという。高血圧の既往はない。最も考えられる疾患はどれか、①～④の中から選びなさい。

- ①脳出血
- ②急性硬膜下血腫
- ③くも膜下出血
- ④慢性硬膜下血腫

問題7：母子保健法が規定するものを①～④の中からすべて選び答えなさい。

- ①産前産後の休業
- ②出産育児一時金
- ③新生児訪問指導
- ④乳児家庭全戸訪問事業

問題8：四角内の文を読み、入院後の児への説明で正しいものを①～④の中からすべて選び番号で答え、その理由を記述しなさい。

11歳の男児。両親と妹の4人家族。2週後から倦怠感と膝関節の痛みを訴え来院した。血液検査の結果、白血球200,000/ μ L、Hb5.5g/dL、血小板2.5万/ μ Lで、精査を目的として緊急入院し、検査の結果、急性リンパ性白血病と診断された。

- ① 便の観察のため排泄物を看護師に見せる
- ② プライバシー保護のため入浴は1人で行う
- ③ 体力をつけるため好きなものは何を食べてもよい
- ④ 入院生活で退屈しないために学校のお友達にできる限り面会に来てもらう

問題9：大腿骨転子部骨折の手術療法を受ける人への看護について適切でないものはどれか、a～dの中からすべて選び答えなさい。

- a. 術後は内出血も多く貧血も進行するので術後1～2週間は注意が必要である
- b. 人工骨頭置換術後では脱臼に注意する
- c. 術後の歩行訓練で荷重痛が悪化する場合には固定力不足の可能性がある
- d. 深部静脈血栓症の臨床症状として Homans（ホーマンズ）兆候を観察する

問題10：人工骨頭置換術後の脱臼が起こりやすい状況について適切でないものはどれか、a～eの中からすべて選び答えなさい。

- a. 椅子に座る
- b. 浴槽に入る
- c. 足の爪を切る
- d. 患側に荷物を持つ
- e. ズボンをはく

問題 1 1 : サクセスフル・エイジングについて説明しなさい。

問題 1 2 : Alzheimer 〈アルツハイマー〉型認知症の患者にみられる実行機能障害とその援助について、例を挙げて説明しなさい。

問題 1 3 : ストラウス (Strauss, A.) の「病みの軌跡」におけるケアの焦点についての説明文である。() に適切な語句を記入し、文を完成させなさい。

慢性状況におけるケアの焦点は(a.)にあるのではなく、(b.)とともに生きることに関心がある。

問題 1 4 : 次の事例を読んで、設問に答えなさい。

Yさん、75歳・男性、身長170cm、体重53kg、20歳から約20本/日喫煙していたが2年前にCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の診断を受け、その後禁煙している。毎朝、7時ごろ起床し、妻と2人で家事を分担し、趣味のゴルフに出かけることもあった。

最近、数回の入退院を繰り返しており、2週間前に風邪をひいて、治療目的で入院となる。

設問 1 : Y さんの病態の説明として適切でないものはどれか、a～e の中からすべて選び答えなさい。

- a. 進行性の気流閉塞である
- b. 肺間質が破壊され、肺気腫病変が起こる
- c. 細気管支炎が生じ末梢気道病変が起こる
- d. 残気量が増えて全排気量が増加する
- e. 1 秒量 (FEV₁) と 1 秒率 (FEV₁/FVC) が低下する

設問 2 : Y さんに起こりやすい症状として、適切でないものはどれか、a～e の中からすべて選び答えなさい。

- a. 息が吐き出せない
- b. 喀痰が増える
- c. 労作時呼吸困難（息切れ）
- d. 乾性咳嗽
- e. 息を吸い込む量が低下する

問題 15：次の事例を読み、設問に答えなさい。

Wさん、75歳、男性、妻と2人暮らし、身長165cm、入院時体重60kg（1週間で3kg増加）、現在無職（60歳まで会社管理職）、50歳より高血圧の内服治療を受けていたが、仕事が忙しく不規則な生活で、内服を忘れることもあった。60歳の時に急性心筋梗塞でPCI（経皮的冠動脈形成術）治療後は医療者の指導内容を遵守してきたが、73歳にうっ血性心不全で初回入院、今回は4回目の入院である。今回の入院は1か月前に退院し自宅療養していたが、体重増加と1週間ほど前から労作時呼吸困難を自覚し、入院前日の入眠中に発作性呼吸困難をきたし、救急車を要請し緊急入院となった。強心薬と血管拡張薬の持続静脈内投与、利尿薬の静注、酸素投与で心不全症状は改善した。LVEF（左室駆出率）は35%で、左心不全と右心不全の両心不全が生じていた。そのうえで、心不全のステージを考慮し、緩和ケアを含めた今後の治療・アプローチの方法、延命治療や措置などについて、話し合いを行う方針である。現在は、治療は内服薬に切り替わり、体重は5kg減、浮腫・呼吸困難は改善し、酸素投与も終了した。室内のトイレのみ自力で歩行可能で、Wさんと家族は、次の心不全再発で状態は厳しいものになると認識し、死への不安を抱えている。

設問 1：Wさんの病態を理解するためには、まず、心不全の病態を知っておくことが必要である。心不全のメカニズムと症状を説明しなさい。

設問 2：事例を読んで、症状が回復した時点での Wさんの看護上の問題を 2つ挙げなさい。

問題 16：就労継続支援A型・B型について、その違いを含めて説明しなさい。

問題 17：リエゾン精神看護の活動の一つ「コンサルテーションへの対応」について説明しなさい。

問題 18：要介護認定を受けた 65歳の男性が訪問看護を受ける場合、医療保険、介護保険のどちらの保険が適応となるか答えなさい。

問題 19：統合失調症の陰性症状について説明しなさい。

問題 20：労働衛生の「3管理」を答えなさい。

問題 2 1 : 次の事例を読んで設問に答えなさい。

A さん（27 歳、男性、会社員）は、テレビの中の人が自分の悪口を言っていると言
い、数日前から、1 人暮らしの自宅（アパート）に引きこもるようになった。夜中に大
声で叫ぶ日が続いたため、自宅アパートの管理人から両親へ連絡があった。A さんの両
親が A さんの部屋に入ると、ベランダの窓は雨戸が閉じられ、小窓は段ボールで覆われ
ていて真っ暗であった。A さんは「スパイに狙われている。お前もその仲間だな」など
と叫び続けるため、精神科病院に入院した。A さんは、統合失調症と診断され抗精神薬
による治療が開始された。

設問 1 : この時期の A さんに対して考えられる治療を述べなさい。

設問 2 : この時期の A さんに対して必要な看護を述べなさい。